



じみ
自見はなこ

参議院議員
医師(小児科専門医・認定内科医)

ひまわり通信

子どもを真ん中においた
命と健康を守る政策を実現します!



2021年
夏色便り

自由民主党東京都参議院比例区第八十七支部



第204回国会において、改正医療法、 改正健保法等の重要法案が成立しました!

平素より大変お世話になっております。

本年1月18日に開会した第204回国会が、6月16日に閉幕しました。今国会では、新型コロナウイルスワクチン接種体制の整備が大きな論点となりました。私も、厚生労働委員会や決算委員会で質問に立ち、接種を行う医療機関への支援の必要性を繰り返し訴え、財政支援や社会保険の被扶養者認定においてワクチン接種業務に伴う医療職の収入を除外して判定できる特例の創設など、具体的な施策に反映することができました。現場を十分に支えるためには、まだまだ追加的な支援が求められます。閉会後も、しっかりと政府に働きかけてまいります。

また、医師の働き方改革などを柱とする「医療法等の一部を改正する法律案」や、全世代型社会保障制度構築に向けた「健康保険法等の一部を改正する法律案」など多くの重要法案が成立したほか、超党派の議員立法で医療的ケアが日常的に必要な子どもと家族を支援する法律も、6月11日に参議院本会議で可決され、成立しました。

皆様からの温かいご指導・ご支援に、心より御礼申し上げます。

参議院議員・医師 **自見はなこ** 



医師の国会議員仲間である
安藤高夫衆議院議員と
新型コロナウイルス
ワクチン接種の現場にて



「不妊治療への支援拡充を目指す
議員連盟」菅義偉総理大臣へ
要望書提出(6月4日)



「明るい社会保障改革推進議員
連盟」加藤勝信官房長官へ
申し入れ(6月8日)

参議院議員・医師 自見はなこプロフィール

筑波大学国際関係学類卒業
東海大学医学部医学科卒業
東京大学医学部附属病院小児科勤務

虎の門病院小児科勤務
日本医師連盟参与・日本小児科医連盟参与
東海大学医学部医学科客員准教授



自民党比例代表(全国区)当選1回(H28) 昭和51年2月15日生まれ
参議院厚生労働委員会理事、自民党厚生労働部会副部長、
自民党女性局長代理等を歴任し、第4次安倍再改造内閣では
厚生労働大臣政務官を務める



3年越しの
法改正

医師養成の過程から医師偏在是正を求める議員連盟 第10回総会

「医師養成の過程から医師の偏在是正を求める議員連盟」(会長：河村建夫衆議院議員、事務局長：自見はなこ)では、医学部高学年の2年間と、研修医の2年間で、より一層シームレスに連携させ、4年間で一般臨床能力の高い医師を養成して、将来的には臨床研修の2年目の地域医療の枠を充実させ、医師不足にも貢献することを目標に活動を続けて参りました。

永年の活動が実り、今回では、共用試験を医師国家試験の受験資格要件として、同試験に合格した医学生が臨床実習として一定の医業を行うことができる旨を明確化(スチューデントドクターの法制化)する医療法等の改正法案が成立しました。

その報告と、今後の更なる前進のため、6月15日に10回目となる総会を開催。厚生労働省、文部科学省より法改正の説明と地域医療研修研究班の報告等があったのち、地域医療を担う医師の確保を目指す知事の会提言について達増拓也岩手県知事・花角英世新潟県知事よりお話しいただきました。地域の実情、現場の声を踏まえた医師偏在対策を、これからも進めて参ります。



成育基本法は
次のステージへ

超党派 成育基本法推進議員連盟 第14回総会



岡明日本小児科学会会長と、オンライン参加の
奥野詠子富山県議会議員

る者への支援に関する提言について」と題して、子どもを権利の主体と位置づける条例制定、子ども成育関連政策に係る部局の縦割り解消、児童相談所の複合拠点化を柱とする、県議会から知事への提言についてご講演頂きました。

産後ケア、こども庁など様々な施策の基盤である成育基本法の理念を推進するため、今後も超党派で議論を重ねて参ります。

2021年2月、成育基本法(2019年12月施行)の理念を具体的な施策に反映させるための基本的な考え方である「成育医療等基本方針」が閣議決定され、また2月から始まった「こども庁」設立に向けた取り組みも大きく進展する中で、14回目となる超党派 成育基本法推進議員連盟総会(会長：河村建夫衆議院議員、事務局長：自見はなこ)を6月11日に開催しました。

厚生労働省子ども家庭局から基本方針について説明があったほか、日本小児科学会 岡明会長から「小児思春期の切れ目ないヘルススーパービジョン」をテーマに、biopsychosocial(身体的・精神的・社会的)な切れ目ない健診体制の重要性についてご講演頂きました。また、成育基本法を受けた地方での取り組みとして、奥野詠子富山県議会議員から「子どもや成育過程にあ

ECMOでも
大活躍

臨床工学技士を支援する議員連盟 第3回総会



野田毅会長の開会挨拶

厚生労働省から今回の法改正と、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を推進するための各医療関係職種専門性を踏まえた対応の在り方等に関する検討会、感染症対応を踏まえた第8次医療計画策定について説明があったほか、済生会宇都宮病院栃木県救命救急センター所長・NPO法人日本ECMOnet理事の小倉崇以先生を講師にお迎えして、「臨床工学技士の役割と評価について～ICU等における新型コロナウイルス感染症重症対応にあたって～」をテーマにご講演頂き、日本集中治療医学会、日本救急医学会の先生方にもご臨席頂き、活発な意見交換ができました。臨床工学技士がチーム医療の中でより一層活躍していけるよう、引き続きしっかりと支援して参ります。

昨年から続く新型コロナウイルス感染症への対応では、臨床工学技士が重症患者のECMO管理等で活躍し、大きな注目が集まりました。今回では、2018年5月の「臨床工学技士の資質向上を求める議員連盟」(会長：野田毅衆議院議員、事務局長：自見はなこ)発足以来の取り組みが実り、医師の働き方改革に資するタスク・シフト/シェアを推進する観点から、臨床工学技士法の改正が実現しました。法改正を受けて、臨床工学技士のより一層の活躍を支援するため、6月2日に総会を開催し、野田毅会長の発議により「臨床工学技士を支援する議員連盟」への名称変更が決まりました。

全世代の
難聴対策を前に

難聴対策推進議員連盟 第13・14回総会

6月8日、難聴対策推進議員連盟（会長：石原伸晃衆議院議員、事務局長：自見はなこ）を開催いたしました。2019年にとりまとめた「ジャパン・ヒアリング・ヴィジョン」について関係省庁からフォローアップ状況の説明と併せて、新生児期・小児期の難聴対策に関する小委員会の報告を事務局長の宮路拓馬衆議院議員より、神戸市立医療センター中央市民病院総合聴覚センター長内藤泰先生より「聴覚の診療と脳機能：神戸中央市民病院総合聴覚センターの取り組み」と題しご講演いただきました。

6月16日には第14回総会を開催し、本年3月3日にWHOが発表した「ワールド・レポート・オン・ヒアリング」について慶應義塾大学医学部名誉教授 小川郁先生と国立障害者リハビリテーションセンター病院耳鼻咽喉科 石川浩太郎先生から解説を頂き、あわせて内閣官房から孤独孤立対策における難聴対策の取り組み、日本臨床耳鼻咽喉科医会福與和正会長よりコロナ禍で困窮する耳鼻咽喉科医療現場からの要望についてご説明頂きました。世界的に高まる気運と、現場からのお声、マクロとミクロの両方の声をしっかりと受け止め、施策に活かして参ります。



第13回総会
内藤泰
神戸市立医療センター
中央市民病院総合聴覚
センター長の講演



第14回総会
福與和正先生、
石川浩太郎先生、
小川郁先生と



参議院決算委員会で 質問に立ちました！



ワクチン
接種への
支援

5月31日、参議院決算委員会で、5月に創設された「ワクチン接種に係る新たな支援策」について支援の迅速な執行について質問しました。

本支援策は、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用したもので、都道府県を介して執行されるため、通常は予算案を都道府県議会で通してから支払われることとなります。いくつかの自治体では通年会期を採用していますが、多くの自治体は6月議会には間に合わず、9月議会まで待つと執行が年末になってしまいます。しかし知事の専決処分とするなどの手続が整えば、9月議会を待つことなく執行できることとなります。そこで、支援を必要とする現場に迅速に届くよう、厚生労働省と総務省が協力して都道府県の財政当局と保健福祉部局に働きかけることについて、田村憲久厚生労働大臣と熊田裕通総務副大臣に質問し、両省が連携して迅速な執行を図る旨の答弁を頂きました。

その後、6月8日には厚生労働省から都道府県・市町村・特別区衛生主管部宛てに、6月9日には総務省から都道府県総務部宛に、医療機関の状況を踏まえて迅速に対応するよう事務連絡が発出されました。

また、今国会で改正医療法が成立したことを受けて、2024年4月から適用される医師の働き方改革についても取り上げ、地域医療に多くの医師を派遣している大学病院において教育・研究・診療機能を維持するための財政面も含む支援について萩生田光一文部科学大臣の考えを伺い、大学病院における労働時間の実態把握のための調査研究や、大学病院の要望も踏まえた財政支援も含めた支援のあり方をしっかり検討すると、踏み込んだ答弁を頂きました。

医師の
働き方
改革

「こども庁」の創設に向けて さまざまな活動に取り組んでいます。



5月10日 第13回 勉強会
「食育」をテーマに、中村丁次日本栄養士会会長を講師にお迎え



5月28日
第18回 勉強会
第二次提言取りまとめ



「こども庁」創設に向けた
特設サイトはこちら

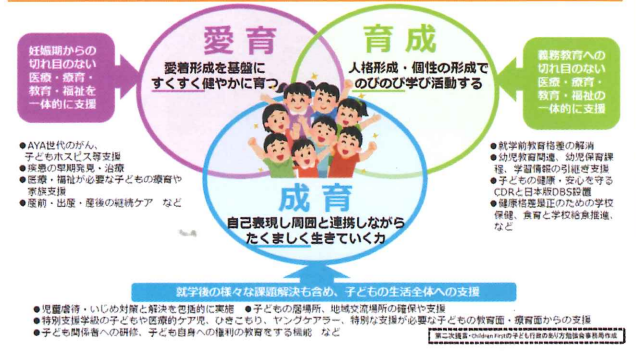


6月3日 自民党「こども・
若者輝く未来創造本部」
決議文取りまとめと、その後の記者会見



Children Firstの社会の実現に向けた『子ども政策のグランドデザイン-こども庁構想』2021年5月28日

- 目指すべき社会像は、すべての子どもたちが「豊かでありたい」「のびのびと成長し」「自己表現し、周囲と連携しながらたくましく生きていく」、養育・育成の視点で基礎とした社会。子どもたちが自ら意思決定できる社会。子どもを大切に、育てたい、豊かな環境を築きたいと願う人々に寄り添った、子どもを尊重し育てる社会を実現。
- 多、日本の子どもが置かれた状況は、命に関わる『子どもの緊急事態』（自殺、虐待、いじめ、不登校、子どもの虐待は構造的）『縦割り×横割り×年代割り』を打破し子どもの問題を解決し、Children Firstの社会を実現していく。



TOPICS

超党派「脳卒中・循環器病対策フォローアップ議員連盟」事務局長として策定に取り組み、厚生労働大臣政務官としても携わった「循環器病対策基本計画」が、循環器・血液学分野の権威ある学会誌『Circulation』に掲載されました。

世界的に権威ある医学会誌『Circulation』に掲載されました。



Acknowledgments

The authors thank Satoshi Maruyama, Haruyo Yasui, Akiko Ishigami, Takeshi Enami, Masanori Miyazaki, Tokuaki Shobayashi, Hanako Jimi (Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan), and contributors for developing the Japanese National Plan; and the members of the Council for Promotion of Measures Against Cerebrovascular and Cardiovascular Disease, especially the president of the Council, Ryozo Nagai (Jichi Medical University).

Circulation

PERSPECTIVE

Japanese National Plan for Promotion of Measures Against Cerebrovascular and Cardiovascular Disease

Coronary artery disease, including stroke, and cardiovascular disease are the leading causes of death in Japan, with together account for 27.7% of the total number of deaths in 2018. The main cause of the load for long-term care is lower the cardiovascular disease (CVD) and cerebrovascular disease (CSD). The burden of stroke, coronary artery disease, and CVD is the highest in high-income countries. The Japanese National Plan for Promotion of Measures Against Cerebrovascular and Cardiovascular Disease (JNPP) was approved by the Cabinet on October 16, 2021, and published on December 1, 2021. On the basis of the Japanese National Plan for Promotion of Measures Against Cerebrovascular and Cardiovascular Disease (JNPP) and the Japanese National Plan for Promotion of Measures Against Cerebrovascular and Cardiovascular Disease (JNPP), the Council for Promotion of Measures Against Cerebrovascular and Cardiovascular Disease (CPCD) was established on October 27, 2021. This national plan was developed through 3 meetings of the Council for Promotion of Measures Against Cerebrovascular and Cardiovascular Disease, 4 parliamentary associated meetings, and public comments. The Council is composed of patients with cerebrovascular and cardiovascular disease, medical and non-medical experts, medical, and non-medical experts in the field of public health, and other stakeholders in the related fields in the current situation and individual measures to address the problems.

The 3-year goal of the Japanese National Plan for Promotion of Measures Against Cerebrovascular and Cardiovascular Disease is to reduce the mortality rate by 1 year by 2024 compared with 2018 and to decrease age-adjusted mortality rate of cerebrovascular and cardiovascular disease. The strategy for achieving this goal is to reduce the mortality rate by 1 year by 2024 compared with 2018 and to decrease age-adjusted mortality rate of cerebrovascular and cardiovascular disease. The strategy for achieving this goal is to reduce the mortality rate by 1 year by 2024 compared with 2018 and to decrease age-adjusted mortality rate of cerebrovascular and cardiovascular disease. The strategy for achieving this goal is to reduce the mortality rate by 1 year by 2024 compared with 2018 and to decrease age-adjusted mortality rate of cerebrovascular and cardiovascular disease.

The Japanese National Plan includes 3 major measures: spreading awareness of prevention measures and active participation in a systematic and systematic care, enhancing disease prevention systems related to health, medical care, and welfare services, and promoting research on cerebrovascular and cardiovascular diseases. The measures are organized for all patients, and all the prevention are needed to achieve the 3-year goals.

Keywords: Cerebrovascular disease, Cardiovascular disease, Stroke, Mortality, Prevention, Public health, Policy, Japan.

Manuel Kriebitzsch, MD, PhD
Masanori Miyazaki, MD, PhD
Shinichi Kimura, MD, PhD

DOI: 10.1161/CIRCRES.121.000007

May 10, 2022

ナビゲーターとしてラジオ番組に出演



京都大学明和政子教授がゲスト出演

ニッポン放送 毎週日曜 6:04~6:13 放送
ABCラジオ 毎週日曜 6:20~6:29 放送
九州朝日放送 毎週土曜 6:15~6:24 放送

ニッポン放送 東京 茨城 山梨 神奈川 栃木 福島 千葉 群馬 長野 埼玉 静岡 新潟

ABCラジオ 大阪 兵庫 京都 岡山 奈良 香川 和歌山 徳島 および 広島 滋賀 高知 三重 大分 岐阜 鳥取 愛知の一部

KBCラジオ 福岡 熊本 愛媛 佐賀 大分 香川 長崎 鹿児島 山口 広島

上記エリア外でも配信後の音声をお楽しみいただけます
<http://www.1242.com/radio/sukusuku/>



「ひまわり会」入会のご案内

「ひまわり会」は政治資金規正法上の政治団体です。自見はなこの政治活動を支援するため、ひまわり会への入会を募集しております。

賛助会員（年間1口1万円から）には、ひまわり通信、その他ご案内をお送りします。会費は政治資金規正法上の政治団体に対する寄付となり、税控除対象となります。

